

さいレクだより

令和6年3月

あなたのHappyここにある♪
笑顔でつなぐレクリエーション



撮影／鈴木 公代

令和5年度 埼玉県レクリエーション協会表彰

表彰部門	受賞者・団体名
功労者表彰	畠山 清彦（さいたま市ターゲット・バードゴルフ協会）
優良団体表彰	さいたま市社交ダンス連盟



▲畠山 清彦



▲さいたま市社交ダンス連盟
（会長 中村 孝三）

令和5年度 さいたま市スポーツ賞表彰【スポーツ功労賞】

所属	受賞者
さいたま家庭婦人バレーボール愛好会	広瀬 幹子
さいたま市ターゲット・バードゴルフ協会	入山 八郎
さいたま市日本民謡連盟	小笠原正子
さいたま市グラウンド・ゴルフ協会	山口 富子
さいたま市社交ダンス連盟	田尾ナミ子
さいたま市ペタンク連盟	高崎 愛子

受賞者の皆様おめでとうございます！

令和5年度埼玉県レクリエーション大会 in 熊谷

令和5年10月22日（日）、彩の国くまがやドーム他にて「令和5年度埼玉県レクリエーション大会 in 熊谷」が開催されました。午前中の総合開会式には、令和6年度開催市の代表として清水勇人さいたま市長と本協会の畠山清彦副会長が出席され、埼玉県レクリエーション協会の本木茂会長より大会旗を受け取りました。



さいたま市レクリエーション協会ホームページのご紹介

さいたま市レクリエーション協会のホームページがあることをご存じですか？本協会の案内や事業案内のほか、これまでに発行された広報誌「さいレクだより」のバックナンバーも全て掲載！本協会の渡邊顧問に日々の更新・管理を担っていただいています。皆様、どうぞご覧ください♪
URL：http://www.saitamashi-rec.net



↑ホームページはこちら

編集後記

実技研修会・救命講習会にご参加いただいた皆様、また、さいたまマラソンにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。「いつでも・どこでも・だれでも」のキャッチフレーズのもと沢山のスポーツ・レクリエーションに挑戦して、活動の楽しさと人との出会いを大切に、人生楽しく過ごしていきましょう。
（記：小林 美恵子）

令和5年11月12日（日）、岩槻文化公園体育館（多目的室）にて、実技研修会が開催されました。研修会ではビーチボールを体験しました。デモンストレーションでは、さいたま市ビーチボール協会の講師の皆様の技術力により繰り出される変化球に驚きました。会場は笑顔であふれ、スポーツの楽しさを改めて実感できました。
（記：小林 美恵子）

目次

- P2 実技研修会報告
- P3 救命講習会報告、さいたまマラソン報告
- P4 表彰受賞者紹介
令和5年度埼玉県レクリエーション大会 in 熊谷
さいたま市レクリエーション協会ホームページのご紹介
編集後記

編集・発行

さいたま市レクリエーション協会

〒330-9588
さいたま市浦和区常盤6-4-4
さいたま市スポーツ振興課内
さいたま市レクリエーション協会事務局
TEL：048-829-1058
FAX：048-829-1996
http://www.saitamashi-rec.net



実技研修会報告

日時：令和5年11月12日（日）13時30分～16時00分
 場所：岩槻文化公園体育館 多目的室
 内容：ビーチボール
 人数：参加者43名、講師12名、役員3名、広報1名 合計59名

令和5年11月12日（日）、岩槻文化公園体育館多目的室にて実技研修会が開催されました。研修会には43名の方が参加され、ビーチボールを体験しました。デモンストレーションでは、講師団体（さいたま市ビーチボール協会）の皆様の高い技術力が生み出す変化球やボールの速さに驚きました。素晴らしい打ち合いでした。研修参加者も4人ずつチームを作り、2つのチームがコート上でネット越しに打ち合い、点数を競い合いました。ボールは柔らかく、打ち方によってはスピードが遅くなったり速くなったりするため、必死に追いかけてました。運動量が多く汗をかきました。「いつでも・どこでも・だれでも」手軽に楽しめるスポーツとして体験でき、親しみを感じました。講師の皆様、ありがとうございました。（記：小林 美恵子）



< 開会式 >



< 試合 >



< チーム練習 >



< デモンストレーション >

デモンストレーションの
ボールの速さに
写真を撮るのも一苦労!?



（撮影：鈴木 公代・小林 美恵子）

救命講習会報告

日時：令和5年12月9日（土）13時25分～16時40分
 場所：浦和コミュニティセンター 第13集会室
 内容：普通救命講習Ⅰ（講師：市消防局救急課普及係職員3名）
 人数：参加者15名、役員6名、広報1名 合計22名

さいたま市消防局救急課普及係3名の指導により、各団体から選出された15名が講習を受けました。

1. 119番通報から救急隊が到着するまでの9分余りの時間に一般市民が行う一次救命処置は、救命の可能性を2倍程度にするとのことでした。
2. 参加者は一次救命処置（胸骨圧迫と人工呼吸、AEDを使用した電気ショックの与え方、気道異物除去）の指導を受け、緊張感とスピード感を持って真剣に取り組んでいました。

受講者に看護師の方がおられ、さすがの腕前で講師から褒められていた様を見て一句

『癒す手で そっと揃える 人の襟』

（記：山崎 辰雄）



< 開会の言葉 >



< 胸骨圧迫 >



< AEDの使い方 >



< 気道異物除去（背部叩打法） >

（撮影：鈴木 公代）

さいたまマラソン報告

雲一つない絶好のマラソン日和となった、令和6年2月12日（月・祝）に、4年ぶりのフルマラソンとなる「さいたまマラソン」が開催されました。

さいたま市レクリエーション協会は共催として、各加盟団体より約150人のボランティアを選出して運営に協力しました。

治道でのコース整理やランナーへの給水等を行うことで、今回の大会コンセプトである「誰もが楽しみ、誰もが参加できるマラソンの祭典」に参加することができました。

（記：小山田 力）



（撮影：柳澤 光行・小山田 力・鈴木 公代・小林 美恵子）